

さんさん、きらきら 56号

光り、輝く、チーム南陽小 ～考えよう、語り合おう～

令和6年3月13日
長崎市立南陽小学校
学校だより
校長 寺田 成広

今年度の登校日数も残りわずか

5年生の登校日数はあと6日、1～4年生は5日、卒業証書授与式を迎える6年生は当日を含めてあと3日の登校です。正に総仕上げの期間です。

本日は、卒業証書授与式予行練習を、2,3校時に実施しました。本番とほぼ同時刻に開式し、式次第の全てを通して行いました。6年生は、これまでの練習によって約束事や所作をしっかりと身に付けていて、安心して見守ることができました。来賓や保護者の皆様の出席でいっそう厳粛な雰囲気になりますが、今日の様子ならば、きっと立派な姿が見られることと期待しています。

在校生代表として出席する5年生は、終始落ち着いた態度で、「はなむけの言葉」では小●●●さんと、星●●●さんが、暗記した文章を落ち着いて述べることができていました。来年度を踏まえて、4年生も練習に出席しました。こちらも、式の雰囲気をこわさないように気をつけて、よい姿勢を保っていました。



【予行練習の他の画像はこちら ⇒ <https://tinyurl.com/yzy3cwbw>】

週間天気予報では、気温は高くはないものの、晴れのマークが出ているので良い天気の下で門出をお祝いすることができそうです。なお、今年度から卒業生の見送りは、天気に関係なく室内で行うこととしました。これまでは、屋内屋外どちらでも対応できるように計画と準備をしていましたが、シンプルに学び舎から旅立つ卒業生を見送る形にしました。在校生にとっても、天候次第では「雨を心配しながら」、また、「寒さに震えながら」卒業生が来るのを待っていることがありましたが、それもなくなります。卒業生の保護者の皆様、ご理解ご協力をお願いします。



インフルエンザ感染防止のための学級閉鎖

先週8日(金)は、1年2組、今週12日(火)13日(水)は1年1組を学級閉鎖にしました。インフルエンザの罹患者が増える傾向があり、感染を防止するための措置でした。

時々、「閉鎖するときの数値基準はありますか。」と尋ねられることがありますので、ここでお伝えします。

結論から言いますと、罹患者数や、罹患者割合の数値基準はありません。3日間ほどの罹患者数の推移から、以後の感染が広まると考えた時は学校医に意見を求め、「〇日間の閉鎖が適切である」との助言を受けた場合は、長崎市教育委員会に閉鎖を申し出ます。感染症による閉鎖は、学校の設置者に決定権があるのです。最終的に教育長の決断がおきて始めて、学校は閉鎖を子どもたちや教職員、保護者の皆様に周知します。

今回の学級閉鎖では、当該学級に在籍がない保護者の皆様にも『tetoru』で措置を配信しました。学校の状況を知っておいていただくことは大切だとの考えからです。(コロナウイルス感染症がⅡ類であった頃は、反対に知らせないようにしていました。)

残り少なくなった今年度、閉鎖措置をとることなく教育活動が進められることを切に願っています。